

平成26年度第3回北海道ブロック協議会
第4回北海道代協理事会
議事録

平成26年10月24日(金) 13:00~16:50

於:センチュリーロイヤルホテル

出席者

日本代協理事	木内 彰		理事	田中 幹	札幌	理事	大橋 敏	函館
日本代協理事	山口 史朗	札幌	理事	川口 直一	札幌	理事	上畑 雅則	釧路
会長	羽山 和広	帯広	理事	濱谷 一弘	札幌	理事	大高 善弘	釧路
副会長	松浦 則雄	函館	理事	嶋田 拓馬	札幌	理事	通岩 稔	釧路
副会長	佐々木 雅之	札幌	理事	廣瀬 禎	室蘭	監事	本村 宏文	千歳
副会長	寺田 賢	旭川	理事	山本 仁	旭川		佐藤 聖	苫小牧
副会長	吉田 和彦	釧路	理事	坂本 信一	旭川		白戸 俊成	札幌
副会長	深井 弘美	帯広	理事	鈴木 雅裕	小樽		赤山 登	札幌
専務理事	伊藤 隆人	札幌	理事	本田 秀一	苫小牧		澤田 憲孝	帯広
常務理事	酒井 正衛	札幌	理事	小笠原 信夫	千歳		羽田 武史	帯広
理事	山崎 善仁	札幌	理事	田代 誠治郎	函館	事務局	藤田 和代	

司会 専務理事 伊藤 隆人

1. 開会の辞 (吉田 和彦)

2. 北海道代協会長挨拶 (羽山 和広)

別紙参照 別紙読み上げ

現在の生保・損保の状態

委託型募集人

イベントが多くなるので皆様の協力をお願いします。

3. 日本代協理事挨拶 (木内 彰)

ブロック委員・支部各委員の方の活動に熱意を実りのある会合にしましょう。

4 募集規範朗読 (大橋 敏)

5 議長選出

議長には寺田 賢氏 (副会長) が指名され、承認を得た。

6 議事録署名人の選出

山本 仁氏（旭川）、濱谷一弘氏（札幌）が指名され、了承を得た。

7 議 事

[I] 報告事項

(1) 日本代協理事会報告（木内 彰）

別紙あり

- ・ トータルプランナー認定授与式 12月5日東京にて
- ・ 日本代協認定講師 9名、10月1日スキルアップ研修行った
- ・ 10月31日 保険毎日新聞社主催 パネルディスカッション
- ・ 委員会の状況について説明

(2) 日本代協ブロック長懇談会報告（羽山 和広）

別紙あり

- ・ 北海道代協 22店増店
- ・ 50%にまずはクリアー
- ・ 国民年金 協力お願いしたい
- ・ 代理店賠償について
- ・ トータルプランナー 38名新規認定者数

(3) 損保協会懇話会報告

- ・ P 22. 23 資料あり
- ・ 金融庁が直接監督検査
- ・ 自動車の自動運転の保険？今後の展開
- ・ 損保協会と各支部との懇談会を今後進めていく

(4) 日本代協委員会報告

組織委員会（川口 直一）

- ・ 有力代理店へのアプローチ 残り43店
- ・ 国民年金加入 北海道目標4
- ・ 新入会員オリエンテーション

CRS委員会（坂本 信一）

- ・ 国連防災世界大会について
- ・ グリーン基金について
- ・ 地震保険・無保険車追放キャンペーン

広告委員会（嶋田 拓馬）

- ・ トータルプランナーの新聞広告注意点
- ・ 事前報告

教育委員会（佐藤 聖）

- ・ 損害保険大学課程コンサルティングコース・専門コース運営
- ・ コンサルティングコースセミナー終了
次回セミナーは3月13日
- ・ 損害保険トータルプランナーとしての移行を行う

ビジョン委員会（佐々木 雅之）

P 33 参照

- ・ 厚生年金にはいない事業者

(5) 各支部活動報告及び今後の予定

札幌一オープン幹事会（5 会員参加） 9月にボウリング大会・懇親会

室蘭一資料通り

11月6日に幹事会

旭川一チャリティーパークゴルフ大会 43 名参加。募金約 35,000 円集まる

去年のチャリティーパークゴルフ大会と合わせて 10 万円

小樽一資料通り

苫小牧一11 月中 新聞広告

千歳一ピンクリボンの乳がんセミナー

函館一タオルボランティア 1,000 目標

釧路一港まつり舟漕ぎ大会参加（地震保険入ってますか 2 艇出場）

帯広一資料通り

賢い年金の受け取り方 9 月

一般市民向け終活セミナー 11 月

タオルボランティアは日にち未定

質問等

寺田・・・10月10日函館支部幹事会・セミナー・懇親会に参加させてもらった。
参加者の多さにびっくりした。懇親会もフレンドリーで大変良い。

(6) 北海道代協委員会報告

教育委員会（佐藤 聖）

資料参照

副委員長に濱谷氏を任命

コンサルティングコース45名目標

講師の選任

コンベンション22名参加

CSR委員会（坂本 信一）

資料参照

タオルボランティアの呼びかけ

広報へ北海道ブロックとして広告

企画委員会（羽田 武史）

資料参照

組織委員会（川口 直一）

資料参照

有力代理店リスト作成

メーカーに資料持参

意見・・・山口理事、P45について

65店目標で±0でも目標達成といえるのか？

理事会としてどう考えるのか

退会がでてきているのは事実

札幌・・・合併等の退会もある。メリットがないのは支部としての責任がある。

室蘭・・・退会理由が重要。行事等に参加しない

旭川・・・支部の活動を魅力的なものに

小樽・・・合併で1社減る。最初マイナスは考えないとした。

苫小牧・・・イメージで拒絶しているところがある。

千歳・・・

函館・・・P46参照、半年で5店合併。目標2店だが努力はしたい。

釧路・・・魅力が伝わっていない。

帯広・・・組織委員会の目標で、各支部で動く。

入会目標 65 店と会員数目標 600 店とある
目標はある、気持ちを持って取り組んでいる

(7) 国民年金基金について

組織委員会からのお願い、声かけていただければ（山口）

19 万店代理店の内、8 万店が個人代理店、さらに個人代理店の使用人をあわせると 13 万人いる。対象者のリストアップをお願いしたい。

質問・・・積立不足・高齢化

リスクも説明してほしい

(8) 政治連盟報告（赤山 登）

政治連盟事務局長 山本氏より情報提供
代議員による協議会

(9) その他

[II] 審議事項

(1) 国民年金基金・会員増強の取組・・・組織委員会報告・年金報告で終了

(2) 新年交礼会開催について **承認確認**

1 月 16 日開催

(3) 北海道代協表彰者選考基準について（酒井 正衛） **承認確認**

支部単位で歴代役員の報告をお願いしたい。

(4) 平成 28 年度会費統一に向けて（羽山 和広） **承認確認**

会費検討委員会を立ち上げていたが、各支部長・執行部で行いたい。
リーダーは松浦副会長・サブとして伊藤専務理事。

(5) 相続相談センター提携について（川口 直一） **承認確認**

札幌は提携しているが北海道代協としても提携してはどうか
相続相談は 7 割ほど電話でおわる。
簡単な質問、代理店の資質の向上につながる。

質問・・・①紹介票はあるのか？

代理店からセンターへの電話で良い。

②生保・損保の逆情報はいただけるのか？

そこまで話はしていないが、代理店紹介者の名前は伝えた方が良い。

③地方の場合どういう対応か？

電話相談は無料（フリーダイヤル）、手続きになるとお金がかかる。

電話ですむケースがほとんどである。

(6) その他

・企画環境から・・・保険の時間（生保）東京の会社 無料相談

車屋のクレジットとセットでお得になる保険

北海道代協としてどう考えるか

日本代協確認して後日報告する [承認確認](#)

・藤田さん業務について

勤務時間 5 時間 45 分以内にして、雇用契約書を作成する。

北海道代協か札幌支部の雇用なのか？・・・田中札幌支部長・佐々木副会長・伊藤専務
理事・酒井常務理事に一任 [承認確認](#)

・トータルプランナー（東京）授与式 [承認確認](#)

損保協会の協力をいただき授与式を行いたい

損保協会に確認

[Ⅲ] その他

・会員増強の取組を組織委員・支部長協力して目標数やっていただきたい。

・11月22日までに会費の徴収をお願いします。

・富士火災主催のセミナー 11月6日13時～ 札幌支部協賛 参加して下さい。

8. 監事講評（本村 宏文）

研修会に参加して、代理店と金融庁の考え方に驚いた。

個人代理店・小さな代理店は要らない、高齢者との契約は付添人をつける。

9. 閉会の辞（深井 弘美）

議事録作成者 酒井 正衛

議事録署名人 山本 仁

議事録署名人 濱谷 一弘